③　正味売却価額は帳簿価額から50%以上下落していますが、使用価値相当額（ＮＴＴの公定価格）が帳簿価格を上回るため、減損の認識は行いませんでした。

Ⅴ．金融商品の時価に関する事項

１．金融商品の状況に関する事項

本学は、資金運用については預金、国債、地方債及び政府保証債等に限定しております。

資金運用にあたっては国立大学法人法35条が準用する独立行政法人法第47条の規定に基づき、公債のみを保有しており株式等は保有しておりません。

２．金融商品の時価等に関する事項

期末日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

（単位：百万円）

	貸借対照表計上額（※１）	時価（※１）	差額（※１）
⑴　現金及び預金	3,729	3,729	—
⑵　未払金	(2,356)	(2,356)	—

（※１）　負債に計上されているものについては、（　）で示しております。

㈱　金融商品の時価の算定方法

⑴　現金及び預金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

⑵　未払金

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

（追加情報）

当事業年度より、「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号　平成20年３月10日）及び「金融商品の時価等の開示に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第19号　平成20年３月10日）を適用しております。

Ⅵ．賃貸等不動産に関する事項

当法人は、東京都その他の地域において、賃貸等不動産を保有しておりますが、賃貸等不動産の総額に重要性が乏しいため、注記を省略しております。

（追加情報）

当事業年度より、「賃貸等不動産の時価等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第20号　平成20年11月28日）及び「賃貸等不動産の時価等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第23号　平成20年11月28日）を適用しております。

附　属　明　細　書

１　固定資産の取得及び処分並びに減価償却費（「第83　特定の償却資産の減価に係る会計処理」による損益外減価償却相当額も含む。）及び減損損失の明細

（単位：千円）

資産の種類		期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	減価償却累計額		減損損失累計額			差引期末残高	摘要
							当期償却額		当期損益内	当期損益外		
有形固定資産（特定償却資産）a	建物	17,714,670	1,906,511	2,804	19,618,378	5,131,334	995,231	—	—	—	14,487,043	
	構築物	1,517,453	73,231	1,516	1,589,167	747,702	95,290	—	—	—	841,465	
	機械装置	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	工具器具備品	377,405	68,323	12,535	433,193	299,194	37,048	—	—	—	133,999	
	図書	25,936	—	—	25,936	—	—	—	—	—	25,936	
	船舶	0	—	—	0	—	—	—	—	—	0	
	車両運搬具	21,287	—	—	21,287	11,692	2,856	—	—	—	9,595	
	計	19,656,754	2,048,065	16,855	21,687,964	6,189,923	1,130,427	—	—	—	15,498,040	
有形固定資産（特定償却資産以外）b	建物	1,295,347	357,141	1,742	1,650,746	210,033	70,646	—	—	—	1,440,712	
	構築物	174,087	10,683	—	184,771	25,563	10,565	—	—	—	159,207	
	機械装置	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	工具器具備品	894,108	276,925	—	1,171,033	574,494	198,692	—	—	—	596,539	
	図書	3,401,017	60,655	15,307	3,446,365	—	—	—	—	—	3,446,365	
	車両運搬具	4,378	—	—	4,378	3,907	623	—	—	—	470	
	計	5,768,939	705,405	17,050	6,457,294	813,999	280,527	—	—	—	5,643,295	